

Fureai

Fujita Related All Information

2024 7.1

Vol.
301

【新執行役員挨拶】

社員への想いと

今後の展望を語る

—— ステンレス・特殊鋼事業部長 大花 謙一
—— 建設建材事業部長 寺尾 敏志

【2023年度下期 優秀小集団】
三条支店／業務チーム
レーザーセンター／SDGsチーム

【各種報告】
育児休業取得事例のご紹介 第3弾
レーザーセンターの取り組み紹介

新執行役員挨拶

成長・コミュニケーション・イノベーション

皆さんこんにちは。このたび執行役員およびステンレス・特殊鋼事業部長に就任しました大花です。入社以来薄板事業部の経験しかない私が、このような大役を任せていただくことになり、大変光栄に思うとともに、この重責に対して身の引き締まる思いです。これまでの経験を活かし、会社の成長と発展に貢献できるように頑張っていきたいと思っておりますので、よろしくお願いたします。

さて、大それたことは言えませんが、私が特に力を入れていきたいと思っている3つのことをお伝えしたいと思います。

①働く仲間一人ひとりの成長を支援

皆さんが安心して働ける環境を整えること。一人ひとりが能力を存分に発揮できるように、最大限サポートしていきたいです。

②コミュニケーションの強化

オープンで透明性のあるコミュニケーションを大切にすること。皆さんと会社のビジョンや目標を共有できるように努めますので、一緒に成長していきましょう。

③イノベーションの推進

市場の変化に柔軟に対応し、新たなアイデアや技術を取り入れること。会社の競争力を高めていくために、全体で創造的かつ革新的なことにチャレンジしていきましょう。

趣味のことや週末の過ごし方なども書きたかったのですが、すでに指定された文字数もオーバーしているようなので、それはまた別の機会にお話ししたいと思います。最後になりますが、皆さんとともに新たな挑戦に取り組み、成果を上げられるよう努力していきますので、どうぞよろしくお願いたします。



営業力を最大化できる一体感ある組織に

4月1日付けで、執行役員および建設建材事業部長を拝命しました寺尾敏志です。まずは簡単に自己紹介をいたします。

2002年入社、最初の配属はステンレス・特殊鋼事業部の美地金（現、関東支店）、2005年に燕支店へ異動、2013年には管理本部の経理部へ異動、2023年11月に建材・厚板事業部 建設建材部（現建設建材事業部）へ異動し、現在に至ります。入社以来、さまざまな部署・仕事を経験できたことが現在の役割遂行において基盤となっており、これまでご指導いただいた諸先輩方、同僚の皆さんに感謝申し上げます。

さて、建設建材事業部へ異動してきて7カ月が経過しますが、正直申しまして、まだまだ日々勉強と新しい発見の連続です。事業部長という重責を担う立場ではございますが、新しい分野への挑戦においては避けずには通れない道と前向きに捉え、関係する皆さんのお力を借りながら一歩ずつ着実に理解を深めるとともに、建材の奥深さと面白みを実感しているところです。また、建設建材事業部メンバーにはこれまでの私の経験や知識などを還元し、従来の発想にない取り組み等を一緒に創出していけたらと考えております。

最後に、今後の建設建材事業部として目指す方向性として、個人商店の営業スタイルから営業戦略や情報の共有および活発なコミュニケーションを通じ、営業力を最大化できる一体感のある組織体制をつくっていき



たいと考えております。この実現には、建設建材事業部メンバーの皆さん一人ひとりの理解と行動が必要です。私も皆さんと一緒に課題に取り組み、目標達成に向けて誠心誠意全力を尽くす所存です。一緒に頑張ります。

今後ともよろしくお願いたします。

2023年度下期
小集団活動

優秀小集団

- 1 活動選定の経緯と概要
- 2 苦勞したこと、苦勞に対して工夫したこと
- 3 活動の成果

三条支店／業務チーム

入荷予定の一覧表示／情報共有

1 長年の慣習として、事務所－工場間でのコイルを除く母材や製品入荷予定の情報伝達に、紙媒体を使用していました。準備の手間や記入漏れ、予定変更による差し替えや連絡が発生していたため、紙媒体廃止と情報共有可能な入荷予定一覧画面(工場側はWeb画面)新設による連携強化に取り組みました。

2 入荷予定を一覧画面に反映させるため、今まで行っていなかったCCSへの入荷登録ボタンが増えることになり、抜けがないよう把握することに苦勞しました。情報システムチームと連携しながら、まずは担当者を絞って仮運用を行い、不明な点や修正すべき点を洗い出していたことで、スムーズに本運用へ移行できたと思います。

3 入荷予定をシステム化することで紙媒体の準備や記入・回収が不要となり、手間の軽減に繋がっています。一覧画面は日付順・倉庫別に並んでいるため、ドライバーからは荷降ろし場所確認の際にも対応がスムーズになったと評価していただきました。工場側で製品受け入れ時に入荷終了の消し込み処理も可能なため、現在の入荷状況が事務所－工場の双方でリアルタイムに共有・確認ができ、連携が強化されました。

評価ポイント

業務の中で事務所と生産(工場)を結ぶ手段として、紙媒体で作業をしていることが多くあります。今回の入荷予定の一覧表示／情報共有は、当日だけでなく先々の予定確認が可能になったことで、生産側も事前に段取りが組めるようになり、業務改善に繋がったと思います。今後も、紙媒体からデータ管理に移行できるような活動をお願いします。

レーザーセンター／SDGsチーム

廃材利用以外で新たな取り組みをする

1 中期経営計画の課題であるSDGs活動で、大量に廃棄しているシュレッダーゴミに目をつけ、リサイクルできないか考えました。そこで、廃棄用紙を利用したアイテムを製作することにし、さまざまなアイデアを出した結果、シードペーパー[®]づくりに決定しました。

2 シードペーパー[®]づくりは、形・大きさ・色など試行錯誤を重ね、完成するまでかなり時間がかかり苦勞しました。工夫した点は、思い通りに仕上がらないときは一旦作業をやめて、後日、新たな気持ちで取り組んだことです。この取り組みにより前回よりも良いものができ上がり、毎日少しずつ成長し、メンバー全員が納得するものを完成させることができました。

3 アルビレックス新潟レディースの試合会場でシードペーパー[®]を配布するにあたり、アルビレックス新潟レディースの公式YouTubeチャンネルや鉄鋼新聞で取り上げていただき、藤田金属をPRすることができました。また、試合会場でシードペーパー[®]を楽しむに来場されたサポーターの方々が声をかけてくださり、とてもうれしかったです。

評価ポイント

紙の再利用を目的としてシードペーパー[®]を製作。SDGs活動を理解してもらおう手段として、影響力のあるアルビレックス新潟レディースに話を持ちかけたところ共感していただき、活動をSNS、YouTube、新聞等で広くPR。短長期的に企業の多大なるイメージアップに貢献した。



第3弾 育児休業取得事例のご紹介



当社で男性社員が1年間の育休を取得したのは、今回が初めてになります。今回の育休取得は、ワーク・ライフ・バランスの推進や社内の意識改革に、大きく貢献するものとなりました。

育休を取得した男性社員

Q. 1年間、育休を取得しての感想

第一子で初めての育児だったので、右も左も分からず怒涛の毎日が過ぎていき、あっという間の1年でした。また、育児や仕事、人間関係やお金のことなど、不安や大変なこと、考えなければならないことが山ほどありましたが、育休を取得させていただけたことで本当に貴重な体験がたくさんできました。この経験は一生の宝物です。藤田金屬および支店内の皆さま、本当にありがとうございました。

Q. 育休取得前と復帰後で変化はありましたか？

1年ぶりに職場に復帰する際はとても不安でしたが、支店内の皆さまが育休取得前と変わらない感じで接してくれたので、すぐに不安は払拭され、安心して仕事に戻ることができました。復帰後も嫌味一つ言われることもなく、忘れてしまっていた作業などを教えていただきました。本当に感謝しかありません。

Q. 育休を取得するにあたり、不安に感じたことや準備したことはありましたか？

S2からL1に移り、やっと少しずつ作業を覚え始めてきた頃だったので、復帰後も覚えていられるか不安でした。そのため業務の部分については、休業に入る前に手順をメモし、育休明けに確認できるように準備していました。また、復帰後の人間関係に対する不安や育休中のお金の不安もありましたが、早い段階から育休取得を考えていたので、計画的に貯蓄をして準備しました。2カ月ごとに支給される育児休業給付金もあったので、何とかやりくりできました。

Q. これから育休取得を希望する方へアドバイスをお願いします

育休中は、毎日が休みというわけではなく、常に赤ちゃんと一緒に過ごす時間はあります。育児は本当に大変ということをもっと実感しました。育休を取得させていただいたおかげで、父親としても少しは成長できたかなと思います。もし育休取得が可能な環境であれば、取得することをおすすめします。

直属上司

Q. 育休取得の申し出をどのように受け入れましたか？

男性の育休取得については新聞・ニュースでも報道されていましたし、会社からも説明等を聞いていたので、当然のこととして受け入れました。

Q. 育休開始までに行った準備や取り組みを教えてください

欠員後の各ラインの人員配置をシミュレーションしたり、若手社員への教育訓練を少々加速させました。

Q. 欠員期間中の対応を教えてください

シミュレーション通りの対応(人員配置など)ができたため、特に問題なく1年間を過ごすことができました。

Q. 部下の育休取得を経験して感じたことはありますか？

今後も育休取得者が増えてくると思いますので、受け入れられる心の準備や、多能工化の促進をしていきたいと思っています。

Q. 他の営業店へアドバイスをお願いします

育休取得が当たり前の時代になってくると思います。育休期間中の人員配置(多能工化促進など)や復帰後の体制などをシミュレーションしておいた方がよいと思います。

所属長

共働き世帯の増加に伴い、今後も男性の育休取得ケースが増えてくると思います。単なる制度として捉えずに、今後もメンバーに安心して働いていただくためにも必要なことと捉え、日頃から準備をしたり、相談しやすい営業店の雰囲気づくりを心がけていきたいと思っています。また、取得者が復帰後もブランクを感じずに戻れるチーム体制を整備し、期間中の他メンバーのモチベーション維持も意識しながら、今後も育休取得を支援していきたいと思っています。

育休には周囲の協力が不可欠です。業務の円滑な引き継ぎが行われ、取得者が安心して休業に入れるよう、妊娠・出産等があった際には意向を確認させていただきますので、早めの報告にご協力ください。(総務部)

レーザーセンターの取り組み紹介

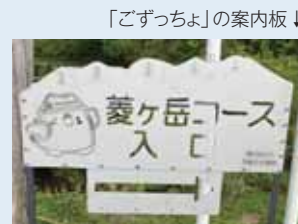
取り組み

01 五頭連峰登山道に案内板を設置

昨年、SDGsの取り組みの一環として、端材を再利用した案内板の設置を阿賀野市に提案し、採用されました。そのプロジェクトを今年も実施。今年は五頭連峰の登山道6カ所に、昨年の寄贈分と合わせて60枚以上を設置しました。地元らしさを取り入れ、阿賀野市のイメージキャラクター「ごずっちょ」がリュックサックを背負ったデザインの案内板も設置しました。



↑案内板を設置している様子



「ごずっちょ」の案内板↓

取り組み

02 相川周遊バスのバス停を寄贈

佐渡市では、佐渡金銀山の世界文化遺産登録推進を契機とした受け入れ環境の整備の一環として、北沢浮遊選鉱場跡や佐渡奉行所跡、京町通りなど、周辺観光スポットを巡る周遊バスの運行が開始されることとなり、藤田金属はレーザーセンターが企画したステンレス製のバス停を寄贈しました。バス停は佐渡金銀山をイメージして金色に塗装。小さい子ども連れの親子でも記念撮影しやすいように、通常のバス停より小ぶりに製作するなどの工夫をしています。



時刻表下には社名を彫っています→

←バス停の全景



取り組み

03 アルビレックス新潟レディースの試合会場でシードペーパー®を配布

SDGsの取り組みの一環として、職場で発生するシュレッダーの紙くずを再利用してシードペーパー®を製作し、アルビレックス新潟レディースの試合会場で先着500名に配布しました。シードペーパー®とは、植物の種が紙の中にすき込まれたもので、土に植えると芽が出て花を咲かせます。実際に試したところ、きれいなオレンジ色のマリーゴールドが咲きました。



配布したシードペーパー®



試合会場で配布している様子



きれいな花を咲かせたマリーゴールド

各営業店にて地域とのコラボレーションなどの取り組み事例がありましたら、総務部までご連絡ください。
ホームページやSNS、社内報にてご紹介させていただきます。